

# 令和２年度 事業報告

(自) 令和２年４月１日 (至) 令和３年３月３１日

## 1. 新規・重点事業

### (1) 地域課題の解決力強化の推進

#### ○ 住民福祉活動の拠点支援の強化

ボランティアの交流や世代間交流、生きがづくりなどに活用できる常設型の屋外拠点の整備をしました。併せて、住民主体の地域福祉活動の常設拠点への家賃補助を行いました。

・常設拠点 みんなの農園（１０月から毎週水曜日の活動）

２５回活動（メンバー １５名）

高校生農園体験、親子農業体験の開催

・活動費補助 ２団体４８０，０００円

#### ○ ボランティアによる移動支援

移送ボランティアによる地域拠点（生活支援体制整備事業による拠点）や買い物などの外出支援などのために本会車両を活用した福祉運行を行いました。

・５８回運行（延べ２１５名利用）

#### ○ 引きこもり者への居場所支援

引きこもりがちな人への居場所と役割の創出支援を行いました。

・２０回開催（延べ９４名の参加）

#### ○ コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの配置

### (2) 生活支援体制整備事業の推進

#### ○ 第２層の運営及び更なる推進のための支援

社協支部１０のエリアにおいて、立ち上がった第２層協議体や拠点の継続や、支え合いの仕組みを創出するための支援や、活動の拡大を住民と共に行いました。

第２層協議体：７か所

・入間川茶べり場

・おたがいさま♡ふじみ

・いりそ支え合いたっち

・奥富地区支え合いネットワーク会議

・柏原「きのえね坂の家」

・まちの縁側推進プロジェクト水富

・みま～も狭山台

※ コロナ禍でもできる活動として、メッセージカードの配布、広報紙の発行、オンライン講演会の開催のほか、感染症対策をした上での居場所の提供等を行う協議体がありました。

○ 小地域福祉活動の人材育成

「ちょこっと見守りサポーター」の登録を増やし、地域のニーズに合った人材養成講座や市民フォーラムや講演会を開催し、生活支援の担い手とリーダーを養成しました。

・ちょこっと見守りサポーター新規登録人数 20名

○ 第1層協議体の運営

第1層協議体の運営を行い、第1層分科会等を活用した支え合いを生み出す仕組みを整備しました。

・第1層協議体定例会 5回開催（オンライン会議を含む）

・有償福祉サービス団体連絡会 未開催

・コミュニティサロン分科会 2回開催（オンライン開催）

・地域福祉フォーラム 3回開催

第1回（11月19日） 参加者：72名

「想定外の外出自粛が地域にもたらしたこと」

第2回（12月26日） 参加者：74名

「インフルエンザとCOVID19を乗り越えるために ～今、伝えたいこと～」

第3回（3月10日） 参加者：97名

「新型コロナウイルスワクチンを安心して接種するために」

○ 小地域福祉に係る社会資源の把握と開発

「令和2年度 生活支援体制整備事業 狭山市社会資源一覧（改訂）」を発行し、関係部署の窓口に付置しました。また、「地域資源管理サービスサイト」のデータベースを公開し、各地域包括支援センター及び居宅介護支援事業と、地域の住民主体の社会資源についての最新情報を共有し、活用できるようになりました。

○ 生活支援コーディネーターニュースの発行 3回発行（17,500部）

(3) CSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）の配置

○ CSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）の配置

支部社会福祉協議会担当職員11名をCSWとして兼務して配置し、出張相談を含めて28件の相談に対応しました。

- 出張相談会の開催 18回開催（相談件数 17件）  
緊急事態宣言による休館をしていない7月から12月まで老人福祉センター3館での「福祉何でも相談会」を各館で月1回開催しました。また、老人福祉センター以外でも相談に対応しました。
  
- (4) 狭山市地域福祉活動計画の策定  
第4期狭山市地域福祉活動計画策定委員会を立ち上げ、令和3年度からの5か年計画である第4期狭山市地域福祉活動計画を策定しました。
  - ・地域福祉活動計画策定委員会 7回開催（書面会議・オンライン会議を含む）
  - ・職員ワークショップ 3回開催
  
- (5) 狭山市地域福祉推進計画及び支部地域福祉活動計画の推進
  - 狭山市地域福祉推進市民会議の開催  
狭山市地域福祉推進計画に基づき、計画を進行管理する機関として「狭山市地域福祉推進市民会議」を設置しました。
    - ・地域福祉推進市民会議（計画推進のための狭山市と協働の会議） 7回開催
  
  - 令和元年度取組結果報告  
狭山市地域福祉推進計画の令和元年度取組状況報告（狭山市及び本会の取り組み）を本会のホームページに掲載しました。
  
  - 狭山市地域福祉推進市民会議検討会の開催  
外出支援サービス普及検討会 4回開催（書面会議を含む）
  
  - 支部地域福祉活動計画の推進  
支部社会福祉協議会が策定した支部地域福祉活動計画の推進を図るため、支部社会福祉協議会の活動を支援しました。
  
- (6) 社会福祉法人による社会資源リストの作成  
社会福祉法人による地域貢献として、社会福祉法人が保有する社会資源を地域に貸し出しできるように、社会資源情報リストを作成しました。
  
- (7) 社協活動の理解の促進及び機能強化
  - 社協活動の理解の促進  
ポロシャツを作成しました。また、社協ホームページ、公式 Facebook ページを随時更新し、情報発信に努めました。

YouTube「狭山市社会福祉協議会チャンネル」を活用し、外出自粛期間でも楽しめてフレイル予防になるような動画をボランティアの協力で作成し、配信をするほか、講演会などの映像も公開しました。

・YouTubeの更新回数 14回

チャンネル登録者数 90名（総再生回数 2,424回）

○ 登録者への自動メール配信による情報発信

アドレス登録のある人に対し、イベント周知やボランティア募集など、多様な情報を自動メール配信にてタイムリーに届けました。

・配信件数 延べ1,576件（配信回数 13回）

○ 災害時の対策の充実

災害時の施設の電源確保として発電機を購入し、社会福社会館に配備しました。

(8) コロナ禍での生活困窮世帯等への支援【追加】

○ 手作りマスク配布

コロナ禍でのマスク不足に対応するため、ボランティア等による手作りマスクを配布しました。

《配布期間》 通年

《配布数》 約19,000枚

《対象者》 子ども、高齢者、市内小中学校、幼稚園、児童館、地域包括支援センターなど必要とされる方

○ こども弁当の配付

コロナ禍での学校休校中の食の確保のため、ボランティアの協力のもと、お弁当の配付をしました。

《配付期間》 5月11日～29日

《配食数》 126食

○ 食の応援プロジェクト

コロナ禍での生活困窮をしている一人暮らしの大学生やひとり親家庭等への食糧支援を行いました。

・一人暮らし大学生への食糧支援（3回）

59セット配付

・ひとり親家庭等への食糧支援（1回）

93セット配付

- 電話による孤立防止「ふれあいコール」  
 コロナ禍での孤立防止のため、メッセージカードの配布と連携した電話対応を職員やボランティアで行いました。  
 《実施期間》 5月～3月  
 《電話対応回数》 着信 99回、発信 76回
- メッセージカードによる安否確認  
 コロナ禍での孤立防止のため、ボランティアによるメッセージカードの配布を行いました。  
 ・お元気ですかカード  
 《配布期間》 5月21日～6月30日  
 《配布数》 9,000枚  
 ・散歩 de ポスティング  
 《配布期間》 1月28日～2月26日  
 《参加者数》 292名  
 《配布数》 14,997枚
- 生活福祉資金の特例貸付  
 新型コロナウイルス感染症の影響で収入減少のあった世帯に対し、埼玉県社会福祉協議会が行う緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付への対応を行いました。  
 《貸付決定件数》 2,613件  
 《貸付決定金額》 984,900,000円  
 【内訳】
- |              |        |              |
|--------------|--------|--------------|
| ・緊急小口資金      | 1,177件 | 231,320,000円 |
| ・総合支援資金      | 817件   | 428,180,000円 |
| ・総合支援資金（延長）  | 464件   | 242,600,000円 |
| ・総合支援資金（再貸付） | 155件   | 82,800,000円  |
- 生活困窮者自立支援事業における住居確保給付金の支給  
 新型コロナウイルス感染症の影響で収入減少のあった世帯に対し、住居確保給付金の支給対象を拡大し、居住用不動産（賃貸）の家賃支援への対応を行いました。  
 《給付実績》 330件  
 【内訳】
- |        |      |       |     |
|--------|------|-------|-----|
| ・初回給付  | 152件 | ・延長給付 | 92件 |
| ・再延長給付 | 79件  | ・再給付  | 7件  |

○ フードバンク等支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響で生活困窮状態となった世帯を支援するフードバンクやフードパントリーに対する支援を行いました。(12～1月の活動に限定)

《助成団体》3団体

《助成金額》300,000円

## 2. 会の運営

### (1) 理事会 4回開催

#### 第1回理事会 6月8日(書面会議)

議案第 1号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会就業規則の一部改正について

議案第 2号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会非常勤職員・嘱託職員・期間契約職員規程の一部改正について

議案第 3号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会在宅勤務規程(案)について

議案第 4号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会経理規程の一部改正について

議案第 5号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会給与規程の一部改正について

議案第 6号 令和元年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第2次補正予算(案)について

議案第 7号 令和元年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業報告について

議案第 8号 令和元年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会決算認定について

議案第 9号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会評議員候補者(案)について

議案第10号 令和2年度定時評議員会の開催について

議案第11号 令和2年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について

#### 第2回理事会 7月28日

議案第12号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会常務理事の選定について

#### 第3回理事会 10月30日

議案第13号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会通所介護事業サービス区分における清算後の残余金について

議案第14号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第1次補正予算(案)について

議案第15号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会顕彰対象者(案)について

議案第16号 令和2年度第2回評議員会について

第4回理事会 3月22日

議案第17号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第2次補正予算(案)について

議案第18号 役員等賠償責任保険の契約について

議案第19号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について

議案第20号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会給与規程の一部改正について

議案第21号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業計画(案)について

議案第22号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会予算(案)について

議案第23号 令和2年度第3回評議員会の開催について

(2) 監査会 2回開催

第1回監査会 5月29日

令和元年度会計決算監査について

第2回監査会 11月12日

令和2年度中間監査について

(3) 評議員会 3回開催

定時評議員会(書面会議)

議案第1号 令和元年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第2次補正予算(案)について

議案第2号 令和元年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業報告について

議案第3号 令和元年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会決算認定について

議案第4号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会役員の選任について

第2回評議員会(書面会議)

議案第5号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第1次補正予算(案)について

第3回評議員会(書面会議)

議案第6号 令和2年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第2次補正予算(案)について

議案第7号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業計画(案)について

議案第8号 令和3年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会予算(案)について

(4) 正副支部長会議 1回開催

第1回支部長会議 7月30日

1. 令和2年度地域ふくし支援金募集及び協力について
2. 支部地域福祉活動計画の令和元年度評価について
3. 第4期地域福祉活動計画の策定について
4. 新型コロナウイルス感染症の影響下での社会福祉協議会主催の各種事業について
5. 新型コロナウイルス感染症の影響下での支部社会福祉協議会の活動について

### 3. 委員会の運営

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| (1) 評議員選任・解任委員会      | 1回開催          |
| (2) 広報委員会            | 開催せず          |
| (3) 在宅福祉サービス推進委員会    | 開催せず          |
| (4) 助成金交付事業審査委員会     | 1回開催（書面会議）    |
| (5) 手話通訳者派遣事業運営委員会   | 2回開催          |
| (6) 援護資金貸付審査委員会      | 開催せず          |
| (7) ボランティアセンター運営委員会  | 1回開催（書面会議）    |
| (8) ささえあい狭山運営委員会     | 3回開催（書面会議を含む） |
| (9) さやま成年後見センター運営委員会 | 4回開催（書面会議を含む） |

### 4. 財源の確保

- (1) 社協会員の加入促進 8,472件 6,258,000円

○既存会員の会費納入及び新規会員の加入募集

- (2) ささえあい狭山会員の加入促進 359件 664,000円

※ 令和2年度より活動状況に応じ、提供会員へは年会費の半額を返金しています。

- (3) 社会福祉活動基金の運用

国債で運用を図りました。

受取利息配当金収入 2,800,000円

- (4) 赤い羽根共同募金 6,850,840円  
○埼玉県共同募金会狭山市支会に協力
- (5) 地域歳末たすけあい募金 4,882,476円  
○埼玉県共同募金会狭山市支会に協力
- (6) 社協だより「ふれあい」へ広告掲載  
有料広告の掲載 11件
- (7) 寄付金  
寄付金収入 4,050,888円

## 5. 事務局体制・機能の強化

業務運営会議、職員任用委員会、勤務評定を実施するとともに、オンライン研修への積極的な参加を図り、人材育成・交流・適正配置に努めました。

- (1) 研修 55回  
埼玉県社会福祉協議会、全国社会福祉協議会等による研修に積極的に参加することで、本会職員としてのスキルアップを図りました。
  - 参加した主な研修  
人事労務管理研修、市町村社協地域福祉推進担当課長会議、会計研修、中小企業新人職員合同研修、生活支援コーディネーター課題別研修、意思決定支援研修 など
- (2) 内部研修 2回 計49名参加
- (3) 事務局機能の強化  
新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅勤務や分散勤務（土日を含めた分散や一時的なサテライトオフィスの設置）の導入のほか、特例貸付で人員が必要な狭山市駅東口事務所への応援職員の配置など、柔軟な対応を行いました。
- (4) 人事考課の実施 2回実施
- (5) 職員の自己申告制度の実施 12月実施
- (6) 事務事業評価の活用  
新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、事業内容の休廃止を含めた見直しを行いました。

## 6. 調査研究

### (1) 遺贈寄付にかかる調査研究

地域で暮らした人が、最後に地域のためにお金を使う、人生最後の社会貢献である遺贈寄付についての相談を受けました。

・相談 1件

## 7. 連絡調整

関係機関との連携の充実・強化を図りました。

### (1) 狭山市自治会連合会・狭山市民生委員児童委員協議会・市役所職員との連携

会員会費、共同募金（赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金）の協力を依頼し、実施しました。

また、民生委員・児童委員協議会の活動に対する補助金を交付し、地域福祉活動の支援を行いました。

### (2) 狭山市自立支援協議会への参加

狭山市自立支援協議会の実務者会議に参加し、障害者福祉サービスに関する関係機関・事業所との連携を図り、障害者福祉サービスの質の向上に努めました。

### (3) 入間川・入間川東地区、入曽地区、水野地区、富士見・中央地区、狭山台地区、堀兼・奥富・新狭山地区、柏原・水富地区地域包括支援センター主催による日常生活圏域会議への参加をしました。

### (4) 協働推進委員会、青少年を育てる市民会議、障害者福祉プラン懇談会、障害者差別解消支援地域協議会、子育て支援ネットワーク会議など狭山市の主催する会議への参加をしました。

### (5) 社会福祉法人連絡会に関する意見交換会等の開催

社会福祉法人連絡会勉強会を開催し、社会福祉法人同士の連携の向上に努めました。

《開催日》 3月3日（水）

《会場》 オンライン（ZOOM）

《参加者》 8法人17名+オブザーバー1名

《内容》 実践報告「社会福祉法人との連携ですすめる地域づくり ～板橋区の取り組み～」、意見交換

## 8. 普及宣伝

- (1) 広報委員会 委員会の見直しのため、開催せず
- (2) 社協だより「ふれあい」の発行  
年4回（4月・7月・10月・1月）発行 各回55,900部
- (3) ふれあいこころちゃん放送 3回（9月・12月・2月）
- (4) 諸事業の広報用印刷物発行
- (5) ホームページの更新 96回（アクセス数 24,126件）
- (6) フェイスブックの更新 51回（ページフォロワー数 335名）
- (7) ガイドブック 1,000部作成
- (8) YouTubeの更新【再掲】 14回（チャンネル登録数 90名）  
総再生回数 2,424回

## 9. 支部社協への支援

- (1) 支部長会議を通して市社協と支部社協の連携
- (2) 支部社協の諸事業に協力・援助（活動費交付等）
- (3) 支部社協在宅福祉サービス推進事業に協力・援助
  - ・支部社協地域福祉活動計画推進への協力
  - ・支部活動に関連する情報提供
- (4) 生活支援体制整備事業等を通してのコミュニティづくりの推進のための連携

## 10. 在宅福祉サービスの推進

- (1) 市社協における推進
  - 在宅福祉サービス推進委員会 委員会の見直し中のため、開催せず
  - 研修会（衛生講習会） 新型コロナウイルス感染症の影響で保健所との調整ができなかったために開催せず
- (2) 支部社協における推進
  - 支部在宅福祉サービス推進委員会
  - 孤立予防・安否確認のための友愛訪問の実施、支部だよりの発行
  - 支部社協地域福祉活動計画の推進及び評価
- (3) 見守り事業【再掲】
  - ちょこっと見守りサポーター新規登録人数 20名

## 1 1. 福祉教育

### (1) 福祉体験教室の実施

車椅子・ガイドヘルプ・高齢者擬似体験・障害者等の講話・昔遊び体験、点字体験の指導や小学生・中学生向けの認知症サポーター養成講座（キッズ講座）、あいサポート出前講座を小学校・中学校等で実施しました。

《件数》 11件

(小学校 10件、中学校 1件、高校・一般企業 0件)

《対象者数》 945名

※ 視覚障害者体験学習（駅のホーム版）という新規メニューを開拓しました。

### (2) 福祉教育サポーター養成講座

《開催日》 8月25日（火）

《会場》 社会福祉会館 大会議室

《内容》 講話「コロナ禍の子どもたちを知る」(水富小学校教諭)

《参加者》 17名

## 1 2. 高齢者福祉

### (1) 福祉機器の貸出

介護保険認定者以外で、福祉機器等（車椅子、歩行器、シャワーチェア等）の必要な方へ原則3か月を期限に貸出しを行いました。

・車いす 18件

・その他 21件

### (2) 敬老事業（市からの受託事業）

新型コロナウイルス感染症の影響で敬老事業が中止となり、受託中止。

## 1 3. 障害者福祉

### (1) 障害者団体等への協力援助 5件 636,000円

障害者団体の活動や事業に対する助成を行いました。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で3団体から256,400円の助成金返還がありました。

### (2) 助成金交付事業審査委員会 1回（書面会議）

6月 令和2年度さやま福祉活動応援助成金の審査について（申請 5団体）

(3) 全身性障害者通学等介護人派遣事業（市からの受託事業）

高校・大学へ通う全身性障害者の方を対象とし、全般的な介助を行うため、介護人を派遣しました。

《対象者》 1名

《派遣時間》 240時間

(4) 手話通訳者派遣事業（市からの受託事業）

社会参加の促進を図るため、聴覚障害者の方を対象に手話通訳（情報保障）によって、手話通訳者を派遣しました。

《派遣件数》 539件

《派遣人数》 571名

○ 手話通訳者派遣事業運営委員会（2回）

8月24日 1. 新型コロナウイルス感染症の影響による対応について

2. 平成31（令和元）年度狭山市手話通訳者派遣事業報告  
について

3月 3日 1. 令和3年度狭山市手話通訳者派遣事業計画について

○ 登録手話通訳者研修会

《回数》 2回

《参加者》 延べ12名

○ 手話通訳者派遣事務所だより『手輪』

年3回（6月・12月・3月）発行 各回1,040部

○ 頸肩腕症候群健診の受診

《回数》 1回

《参加者》 9名

○ 聴覚障害者の集い（独自事業）

新型コロナウイルス感染症の影響で実施せず

(5) ハンディキャブの運行

障害により外出が困難な人が積極的に社会参加できるよう、移送サービス等を行いました。

○ ハンディキャブの運行（市からの受託事業）※貸し出しは休止中

車椅子を利用している方を対象にハンディキャブの運行をしました。

運行：《利用者数》 41名

《利用件数》 延べ758件

- その他、独自事業 福祉車両（ノア）貸し出し  
車椅子を利用している方を対象に福祉車両（ノア）を貸出しました。  
《利用件数》 延べ27件
- (6) 居宅介護事業（ホームヘルパーの派遣）
  - 居宅介護 《利用件数》 延べ3,926件  
《利用時間》 4,093時間
  - 移動支援 《利用件数》 延べ79件  
《利用時間》 368時間
  - 同行援護 《利用件数》 延べ207件  
《利用時間》 478時間
- (7) 指定特定相談支援事業
  - 障害児者相談利用者数 94件

#### 1.4. 児童福祉・母子（父子）福祉

##### (1) ふれあい里親運動

県内の児童福祉施設で生活する児童を、家庭に招き交流や生活経験の機会を提供しました。

- 夏期里親運動 1世帯参加
- 正月里親運動 中止

##### (2) ファミリー・サポート・センターの運営（市からの受託事業）

子育てをお手伝いしてほしい方（預ける会員）と子育てをお手伝いできる方（預かる会員）が相互に会員になり、子育てを支援する環境の整備をしました。

- 会員同士の需給調整等
  - 《会員数》 909名  
(預ける会員 710名 預かる会員 146名 両方会員 53名)
  - 《活動回数》 2,168回
  - 《活動時間》 2,367時間
  - 《病児、病後児預かり登録》 76名  
(利用会員 57名 預かる会員 19名)
  - 《病児、病後児預かり活動回数》 0回
  - 《病児、病後児預かり活動時間》 0時間

※ 新型コロナウイルス感染症防止対策のため活動を休止し、新規登録のみ実施

- サブリーダー会議 4回（オンライン会議を含む）
- 入会説明会 新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止
- 研修会 《講座数》 10講座（オンライン講座を含む）  
《参加者》 延べ42名

○ 交流会

- ① 全体交流会 新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止
- ② 預かる会員連絡会（ふぁみカフェ）

《内 容》

第1回「家族が笑顔で取り組める片付けのヒント」会場及びオンライン

第2回「人気キャラクターを折ってみよう」オンライン開催のみ

《会 場》 社会福祉会館 大会議室ほか（オンラインを含む）

《参加者》 延べ23名

○ ふぁみさぼだよりの発行

年3回（5月・8月・12月）発行 合計発行部数3,061部

(3) 産前・産後ヘルパー派遣事業（市からの受託事業）

妊娠中または、出産直後の方が、安心して子育てができるように、産前・産後ヘルパーが家庭を訪問し、家事のお手伝い、育児相談を実施しました。

○ 需給調整等

《利用者》 延べ17名

《派遣回数》 73回

《派遣時間》 115時間

○ 産前・産後ヘルパー研修会 《回 数》 1回 《参加者》 4名

○ マタニティースクール参加 3名

(4) 狭山市養育支援訪問事業（市からの受託事業）

保護者の養育を必要とされる児童のために、その養育が適切に行なわれるよう、当該要支援児童等の居宅において、養育に関する相談、指導、助言や家事の援助を行いました。

《利用件数》 12件

《利用時間》 46時間

(5) 子ども食堂への支援

地域での子育てを推進するため、子ども食堂を実施する団体への支援や、子ども食堂の普及啓発を行いました。

- 子ども食堂への助成 5団体 384,000円
- 子ども食堂マップの作成、配布 1,000部
- 子ども食堂のネットワークとの連携
- 子ども食堂に関する運営相談  
「子供の居場所づくり相談会@狭山」(10月4日)の開催協力

## 15. 介護保険事業

### (1) 訪問介護

介護保険制度の指定居宅サービス事業所として、訪問介護員を派遣する業務を行いました。

- 要介護
  - 《利用件数》 延べ2,702件
  - 《利用時間》 2,805時間
- 予防介護 実績なし

### (2) 狭山台地域包括支援センターの運営(市からの受託事業)

- 《相談件数》電話 1,623件
- 来所 286件
- 訪問 372件
- 時間外電話 87件
- 時間外訪問 9件
- 《介護予防ケアプラン件数》直営 200件
- 委託 92件
- 委託先 11件
- 《自立支援地域ケア会議》 1回
- 《自立支援評価会議》 0回
- 《日常生活圏域会議》 3回
- 《その他》
  - ・出前講座 19回
  - ・ミニ講座 27回
  - ・ファイブコグ検査 1回
  - ・ボランティア育成 0回
  - ・地域住民団体交流 11件
  - ・ケアマネ相談 49回

## 16. 歳末たすけあい配分事業

- (1) 生活困窮者緊急用生活費給付事業 14件 140,000円

生活困窮者自立支援事業の相談の中で既存の制度の狭間にある課題のため、生活困窮状態からの脱却を目指していても生活再建の道筋を立てられない者に対して、緊急用の生活費を給付することで、生活再建の道筋を立てました。

- (2) 高校進学支援金給付事業 8校24名 1,200,000円

市内公立中学校に通う中学3年生のうち、修学の意欲が旺盛で、高校等の進学が決定したものの、家庭の経済的困窮等により、入学準備が十分にできない恐れのある者うち、学校長からの推薦を得られる者に対して、給付型の奨学金を交付しました。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況を考慮し、寄付金を合わせることで1件あたりの給付金額を増加させました。

- (3) 地域支援事業（障害者団体・福祉施設等への助成）

新型コロナウイルス感染症の影響で実施せず

- (4) 民間保育施設助成事業

新型コロナウイルス感染症の影響で実施せず

- (5) フードバンク等支援事業【再掲】

新型コロナウイルス感染症の影響で生活困窮状態となった世帯を支援するフードバンクやフードパントリーが年末年始に行う活動に対する支援を行いました。

《助成団体》3団体

《助成金額》300,000円

## 17. 法外援護

公的保護に該当しないケースに対する援護を行いました。

交通費の援助 19件 9,500円

## 18. 災害援護

災害にあった世帯への見舞金の支給を行いました。

見舞金の支給 1件 10,000円

## 19. 援護資金の貸付

低所得世帯に対し、経済的自立を助長し、生活の安定を図るため、援護資金の貸付を行いました。

- (1) 援護資金貸付審査委員会 開催を要する案件がなかったため開催せず
- (2) 相談件数 32件
- (3) 貸付件数 30件 570,000円

## 20. 生活援護資金の貸付

一時的な生活上の資金を必要とする世帯に対して、生活の安定と生活意欲の助長を図るため、生活援護資金の貸付を行いました。

- (1) 相談件数 (援護資金の相談件数と重複)
- (2) 貸付件数 30件 150,000円

## 21. 生活福祉資金の貸付取扱い(埼玉県社会福祉協議会からの受託事業)

低所得世帯、障害者世帯並びに高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進のため、生活福祉資金の貸付を取り扱いました。

- (1) 相談件数 2,729件
- (2) 貸付決定件数 2,622件 988,235,000円

### 【貸付決定件数の内訳】

- ・緊急小口資金 7件
- ・福祉資金 1件
- ・教育支援資金 1件
- ・特例緊急小口資金 1,177件
- ・特例総合支援資金 817件
- ・特例総合支援資金(延長) 464件
- ・特例総合支援資金(再貸付) 155件

## 22. 心配ごと相談所

住民のかかえる生活上の悩みごと、困りごとの解決に取り組むため、弁護士による法律関係の相談を行いました。

- (1) 開設日  
法律相談(月1回) 毎月第3金曜日  
※ 新型コロナウイルス感染症の影響で6回の開催
- (2) 相談員  
弁護士 1名
- (3) 相談実績

相談事項	取扱件数
家族	1件
財産	9件
住宅	3件
人権・法律	1件
その他	2件
合計	16件

### 23. 福祉サービス利用援助事業（埼玉県社会福祉協議会からの受託事業）

判断能力が不十分な方を対象に福祉サービスの利用援助や日常金銭管理サービス及び書類等の預かりサービスを行うことにより、地域で安心して生活を送ることができるよう支援しました。

《契約件数》	27件（新規11件、解約10件）
《生活支援員活動回数》	354回
《相談件数》	833件
《生活支援員等への研修》	新型コロナウイルス感染症の影響で開催せず

### 24. 法人成年後見事業（市からの一部受託事業）

「さやま成年後見センター」において、成年後見制度の普及啓発、法人後見の受任、権利擁護に関する総合相談や成年後見制度の申立て支援を実施し、認知症高齢者や知的障害者・精神障害者が地域で安心して生活を送ることができるよう支援をしました。

#### （1）相談件数、受任件数等

《受任件数》	7件（後見類型4件、保佐類型2件、補助類型1件） （終了1件）（累計受任件数 18件）
《後見支援員活動回数》	89回
《相談件数》	119件
《申立支援件数》	9件
《後見人支援件数》	37件

#### （2）さやま成年後見センター運営委員会（4回）

- 7月14日 1. 委員長、副委員長の選任について
- 10月9日 （報告事項のみ）
- 12月23日 （報告事項のみ）
- 3月5日 1. 令和3年度事業計画（案）について

(3) 後見支援員への研修 2回

(4) 市民向け講演会

成年後見制度に関する普及啓発のための講演会を開催しました。

《日 程》 2月13日(土)

《会 場》 オンライン(ZOOM)

《内 容》 市民後見について考えよう

《講師等》 コーディネーター 今井 孝之 氏(社会福祉士)

実践報告 さやま後見ネット、市民後見いきいきNet所沢

《参加者》 36名

(5) 支援者向け研修会

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、障害者基幹相談支援センター、障害者相談支援事業所など、成年後見制度に関わる支援機関向けの研修会を開催しました。

《日 程》 1月29日(金)

《会 場》 オンライン(ZOOM)

《内 容》 福祉関係者のための成年後見制度の基礎知識

《講 師》 今井 明 氏(司法書士)

《参加者》 21名

(6) 権利擁護法律相談

《開設日》 毎月第1金曜日

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で11回の開催

《相談員》 弁護士 1名

《相談実績》

相談事項	取扱件数
成年後見制度	4件
遺言・相続	7件
虐待・権利侵害	4件
金銭トラブル	5件
その他	5件
合 計	25件

## 25. 生活困窮者自立支援事業等の生活困難者への総合相談

生活困難者への総合相談として、生活困窮者自立支援事業を中心に、特に経済的困窮者に対する相談を受け付け、自立更生のための支援を行いました。

### (1) 生活困窮者自立支援事業（市からの受託事業）

#### ① 相談件数

《新規相談》	1, 800件（累計相談件数 4, 882件）
《プラン作成》	107件
《住居確保給付金》	330件
《自立・就労件数》	52件

#### ② 支援調整会議

《開催回数》	12回
《調整件数》	75件

#### ③ 職員研修、職員ミーティング

《職員ミーティング》	12回
《ケース会議》	毎朝のミーティングの中で対応

### (2) 無料職業紹介所の運営

《登録求職数》	1件
《登録求人数》	3件
《紹介件数》	3件

### (3) 彩の国あんしんセーフティネット事業、衣類バンク事業への協力

《相談件数》	4件
《支援回数》	4回

### (4) 生活支援物資の受け入れと活用

《寄附受入件数》	139件
《支援件数》	339件

### (5) フードバンクとの連携

フードバンクネット西埼玉、フードバンクさやまと連携をし、生活困難者への一時的な食糧支援を実施しました。

《活用件数》	42件
--------	-----

## 26. ふれあいサロンへの支援

身近な生活の場を拠点として、住民である当事者とボランティアが協働で企画し、内容を決め、共に運営していく楽しい仲間づくりの活動の相談、支援を行いました。

(1) 登録団体 45団体 (新規団体 なし)

(2) 登録研修会 新規登録がなく、未開催

(3) 運営費助成 延べ20団体 149,000円

※4半期ごとの交付及び特別助成

(4) ふれあいサロン保険助成 44団体 延べ52,519名分

(5) サロン再開応援パックの配付

新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた団体が再開するにあたり、ハンドソープ、使い捨て手袋、アルコール消毒液など感染症予防対策として使用していただくために購入し、再開した団体へ随時配付しました。

## 27. コミュニティサロン協議会の運営

狭山市内の多機能サロン、コミュニティカフェ等のネットワーク管理と協議会の運営を行いました。

(1) 登録団体 65団体

(2) 定例会 1回

《日 程》 7月31日(金)

《会 場》 オンライン(ZOOM)

《内 容》 「新しい生活様式による地域福祉活動～サロン・・・再開していいの？」

《参加者》 20サロン 37名

※ 会場での開催を予定していたが、コロナ感染者の増加によりZOOMの他にYouTubeでも同時配信した。YouTubeでの視聴者数は不明。

## 28. 地域福祉活動団体への支援

(1) 地域福祉活動スタートアップ助成事業 3団体 600,000円

新たに設立された地域福祉活動団体への立ち上げ時の設備費用・運営費等や既存の団体が新たな活動を始める際の設備費用の助成を行いました。

(2) 地域福祉活動者研修助成事業

地域福祉活動団体のリーダーに対する研修支援として、「第14回全国校区・小地域福祉活動サミット in 北海道」を予定していましたが、延期となり、代替研修の助成はしませんでした。

## 29. 人材育成

(1) 手話講習会（市からの受託事業）

手話奉仕員養成講習会（前期）（全21回）、手話通訳者養成講習会（準備）（全10回）を実施しました。

《開催日》 10月～3月

《会場》 社会福祉会館（オンラインを含む）

《参加者》 手話奉仕員養成講習会（前期） 15名

手話通訳者養成講習会（準備） 3名

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で手話奉仕員養成講習会（後期）、手話通訳者養成講習会（通訳Ⅰ）については新型コロナウイルス感染症の影響で中止しました。

(2) あいさポーター養成講座（市からの受託事業）

地域共生社会の実現を目的として、障害や障害者への理解を促進するための講座、講師の養成、企業・団体等の認定を行いました。

○ あいさポーター研修

《開催回数》 22回

《新規サポーター数》 744名

○ メッセージ研修

《開催回数》 新型コロナウイルス感染症の影響で開催せず

○ キッズあいさポーター研修

《開催回数》 3回

《キッズサポーター数》 247名

○ あいサポート企業・団体の認定 2件

(3) 社会福祉実習、職場体験学習等の受け入れ

福祉人材の育成のため、社会福祉士等の実習を受け入れました。

狭山市役所経由の実習生 1名（3日間）

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で原則、実習受け入れを中止。

### 30. 福祉出前講座

地域福祉活動についての浸透を図るため、市民からの要望に応え、地域福祉活動に関する出前講座を実施しました。

《講座内容等》「あいサポート講座」・「あいサポートキッズ講座」・「手話講座」等

《回数》 17回

《参加者》 延べ709名

### 31. 老人福祉センターの指定管理

#### (1) 老人福祉センターの運営・管理（市からの受託事業）

《利用状況》

施設	開所日数	利用件数	利用者数
宝 荘	177日	1,832件（団体215件、個人1,617件）	4,081名
寿 荘	177日	1,811件（団体118件、個人1,693件）	2,922名
不老荘	176日	2,620件（団体145件、個人2,475件）	3,660名
合 計	530日	6,263件（団体478件、個人5,785件）	10,663名

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で4月1日～6月19日、1月9日～3月21日が休館となりました。開所中も団体利用を段階的に開始したり、入浴設備を利用禁止にするなど感染症予防に努めました。

#### (2) 老人福祉センター自主事業

福祉・健康・教養講座、グラウンド・ゴルフ等を開催しました。

施設	事業数	参加者数
宝 荘	9事業	767名
寿 荘	2事業	1,452名
不老荘	6事業	1,066名
合 計	17事業	3,285名

#### (3) たまり場活動事業

新型コロナウイルス感染症の影響で活動を中止しました。

#### (4) 健康相談事業

看護師による健康相談を行いました。

施設	回数	相談件数
宝 荘	29回	204件
寿 荘	29回	539件

不老荘	29回	470件
合計	87回	1,213件

(5) 福祉何でも相談事業

コミュニティ・ソーシャル・ワーカーによる福祉何でも相談を行いました。

施設	回数	相談件数
宝荘	6回	8件
寿荘	6回	3件
不老荘	6回	6件
合計	18回	17件

### 3.2. 社会福祉会館の指定管理

(1) 社会福祉会館の運営・管理（市からの受託事業）

《開所日数》 249日  
 《利用回数》 738回  
 《利用者数》 6,545名

### 3.3. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター運営委員会 1回（書面会議）

- 9月 1. 委員長・副委員長の互選について  
 2. ボランティアセンター登録グループへの助成について  
 3. その他

(2) ボランティアグループ代表者会議 1回

《開催日》 10月28日（水）  
 《会場》 市民会館 第4会議室  
 《内容》 1. 情報交換「コロナ禍の登録グループの活動について」  
 2. 報告「コロナ禍のボランティアセンター事業について」  
 《参加者》 17団体

(3) ボランティア活動への援助

ボランティアグループ活動費助成 6グループ 535,000円

(4) ボランティア活動の需給調整

区 分	件数	回数	人数
障害者（児）関係	29 件	55 回	82 名
高齢者関係	50 件	53 回	126 名
その他	42 件	78 回	224 名
合 計	121 件	186 回	432 名

○登録団体 2 2 団体（新規登録 0 団体）

○登録個人ボランティア 3 6 8 名

○新規登録ボランティア（個人） 1 6 名

(5) 関係機関との連携

関係機関（ボランティア連絡会・保健センター・地域包括支援センター・保健所等）との連絡調整

(6) ボランティアスクール

ボランティアの発掘、育成のため、ボランティアスクールを実施しました。

① あなたにもきっと見つかるボランティア講座

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して中止

② 災害ボランティア養成講座

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して中止

③ 専門講座 開催せず

④ 地域共生のための仲間づくり講座「シニアのためのオンライン講座」

《開催回数》 8 回

《参加者》 5 3 名

《WEBサロン》 6 回

⑤ 世代間交流事業

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して中止

(7) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して中止

(8) 彩の国ボランティア体験プログラム

ボランティア活動プログラムを提供し、ボランティア活動へ取り組む機会を提供しました。

日 程	メニュー数	参加者数
夏：7月～8月	11	10メニュー 延べ58名
秋：9月～11月	10	7メニュー 延べ7名
冬：12月～2月	10	6メニュー 延べ8名
合 計	31	23メニュー 延べ73名

(9) 地区ボランティアセンターの設置

- 《開催日》 4月～3月（第1水曜日）  
《会 場》 鶯ノ木団地集会所  
《参加者》 7回延べ31名  
《相談件数》 36件

(10) ボランティア保険の取扱い及び補助

ボランティア活動が安心してできるようにボランティア保険を取り扱いました。

○ ボランティア保険加入取扱い件数

- ・ボランティア活動保険 1, 130件
- ・ボランティア行事用保険 43件
- ・福祉サービス総合補償 5件
- ・送迎サービス補償 0件
- ・ふれあいサロン・社協行事傷害補償 6件

(11) ボランティア通信の発行

年2回（5月・10月）発行 各号800部

(12) 共学支援ボランティア養成講座

新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止となりました。

### 34. 有償福祉サービスささえあい狭山

(1) ささえあい狭山運営委員会 3回（書面会議を含む）

- 12月10日
1. 稼働実績について
  2. 提供会員への年会費減額について
  3. 新型コロナウイルス感染症における「ささえあい狭山」の対応について

- 2月17日 1. 稼働実績について  
2. 提供会員への年会費減額について
- 3月25日 1. 委員長・副委員長の互選について  
2. 令和3年度事業計画について  
3. 提供会員の確保について

※他に移送・交流促進・広報の各部会を実施

## (2) 需給調整等

- 《 会 員 数 》 311名  
(利用会員 263名、提供会員 41名、両方会員 7名)
- 《 活 動 件 数 》 4,500件
- 《 稼 働 人 数 》 659名
- 《サービス提供時間》 4,707.7時間

## (3) 研修会

新型コロナウイルス感染症の影響で開催せず

## (4) ささえあいだよりの発行

年4回発行 累計1,600部

## 35. 第41回社会福祉大会

本大会は、狭山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰することを目的として開催しました。

- 《日 程》 11月25日(水)
- 《会 場》 市民交流センター コミュニティホール
- 《参 加 者》 37名
- 《内 容》 式典、写真撮影
- 《受賞者内訳》
- 社会福祉協議会会長表彰
    - ・役員 1名
    - ・評議員 1名
  - 社会福祉協議会会長感謝
    - ・多額寄付者(個人・団体)【10万円以上】 6名・2団体
    - ・登録ふれあいサロン 2団体
    - ・ボランティアセンター協助者(個人・団体) 5名・11団体

- ・住民参加型在宅福祉サービス協助者 7名
- ・成年後見センター協援者 4名

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、一般参加者の募集を行わず、時間短縮のため式典と写真撮影のみとしました。

### 36. 地域わくわく事業

地域が元気になるための、地域を応援する仕組みとして、自治会で行う地域福祉活動に対して助成を行いました。

《助成数》 8地区12事業

《主な事業内容》 平地林保全事業、行事用備品整備・感染症予防対策用品整備、  
連合会名入りジャンパー調製、地域交流促進事業 など

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で1団体の事業が中止となり、助成金の返還がありました。

### 37. 狭山市との共催による地域福祉関係事業

(1) 地域のつながりと支え合いを考える集い

《日程》 1月30日(土)

《会場》 オンライン(ZOOM)

《参加者》 26名

《内容》 コロナ禍での地域福祉活動について

コーディネーター：野村 政子 氏(東都大学 准教授)

発表団体：サロン103、さざんか塾、かさじぞうプロジェクト

(2) 地域のつながりと支え合いを考えるパネル展

新型コロナウイルス感染症の影響で中止

(3) 地区福祉講座(傾聴ボランティア養成講座)

新型コロナウイルス感染症の影響で中止

(4) 地域福祉推進計画の進捗管理

○ 地域福祉推進市民会議の開催 7回(書面会議・オンライン会議を含む)

4月24日 1. 地域福祉に関するアンケート調査報告について

2. 狭山市・狭山市社会福祉協議会共催事業について

7月 3日 1. 狭山市地域福祉推進計画の令和元年度評価について

- 7月31日 1. 狭山市地域福祉活動スタートアップ助成事業について
- 2. 地域福祉に関するアンケート調査報告（訂正報告）について
- 8月28日 1. 狭山市地域福祉活動スタートアップ助成事業の審査結果について
- 10月23日 1. 外出支援サービス普及検討会について
- 12月25日 1. 外出支援サービス普及検討会について
- 2. 地域のつながりと支え合いを考える集いについて
- 2月26日 1. 地域のつながりと支え合いを考える集いについて

(5) 地域福祉推進団体のネットワーク化（外出支援サービス普及検討会の事務局）

○外出支援サービス普及検討会 4回

### 38. 収益事業

(1) 飲料水等販売手数料収入 215,094円

自動販売機設置場所：老人福祉センター3館（宝荘・寿荘・不老荘）  
サンパーク奥富、教育センター、社会福祉会館

(2) 切手及び収入印紙、埼玉県収入印紙の販売手数料収入 279,366円

社会福祉会館での販売のほか、市役所及び会社等へ販売しました。

### 39. 災害支援

(1) 災害義援金 27,466円

埼玉県共同募金会狭山市支会に協力

○ 令和2年7月豪雨災害義援金（中央共同募金会） 27,466円